

宇佐市民図書館だより



みんと

第77号

2005年7月1日発行

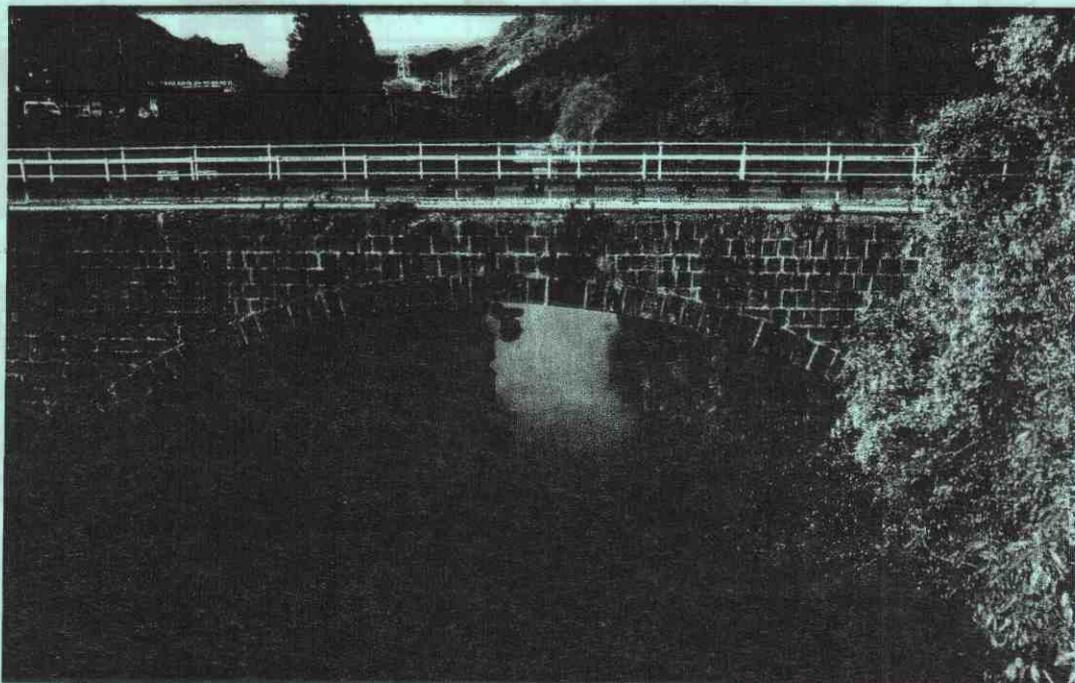
宇佐市民図書館 本館

〒879-0453 大分県宇佐市大字上田1017-1
TEL. 0978-33-4600/FAX. 0978-33-4679

安心院分館

〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛2130
TEL. 0978-44-1111(支所)/FAX. 0978-44-2181

<http://www.usa-public-library.jp/>



ふるさと宇佐を撮る③ 「橋涼」(院内・鷹岩橋)／御堂了圓さん(フォトクラブ“あい”会員)の作品

- お知らせとお祝い(7月から全館禁煙ほか)(2)
- 蔵書点検が終わりました(3)
- 『宇佐海軍航空隊始末記』の今戸公徳さん(4)(5)
- 深川善次さん寄贈の油絵を公開(7/9)(6)

よむぞう

団塊の行方

団塊の世代とは戦後の一九四七年から四九年生まれで、現在五十六歳から五十八歳の人たち(前後二歳を加える考え方もあります)にあたります。日本の高度成長期からバブルの時代そしてIT時代、現代へとまさに社会を支えてきた人たちの流れであり、その流れが今後リタイア時期を迎えるにあたり、どうなっていくのか興味をもたれるところです。又その流れ次第で社会の仕組みも変わってくるのかも知れません▼もうだいたいぶ前になりますが、井上陽水さん(56)が、出身校の福岡県立西田川高校に八十周年記念講演の講師として訪れ、在校生を前にして、幼いころの故郷の情景を描写したとされる「少年時代」を歌い涙したことが『朝日新聞』の記事に出ていましたが、多感な筑豊での高校時代から歯科医の父の後を継ごうと大学を目指した福岡での三年の浪人の後、ミュージシャンとして東京でデビューして今日に至っているという、まさに団塊世代の一典型といえるでしょう▼こんな例もありますが、多くはそれなりに苦労をして、それなりに社会を支えてきた人たちであり、老後とはいよいよ難しいまさに団塊の世代が、潮流として勢いを持ったまま、社会参加して社会を動かせることが、今日的な課題ともいえそうです▼そんな団塊の世代の気概に期待するとともに、図書館利用がその一助になればと活用を大いに期待しています。

探しものはきっとみつかる 宇佐市民図書館

～宇佐市民図書館をご利用のお客様へ～

お知らせとおお願い



喫煙について

日頃より宇佐市民図書館をご利用いただき、ありがとうございます。

健康増進法の施行に従って、以前よりお知らせしていたとおり、7月1日より館内での喫煙を全面禁止とさせていただきます。

吸い殻入れは暫くは外の玄関近くに置きます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

貸出期限について

図書館だよりでもお知らせしましたが、4月より視聴覚資料・雑誌・紙芝居の貸出期限が長くなりました(1週間→2週間)。期限をお守りくださるようお願いいたします。「まだ読んでいない」という場合は、返却カウンターで「この資料をもう一度借りたい」とおっしゃってください。予約がない場合はもう一度貸出できます。

予約について

図書もビデオなどにも、返ってくるのを待っている方がいます。そういう方には、予約をおススメしています。予約とは「貸出中」となっている資料が返却された次第、予約をされた方のために取り置きをするサービスです。「ご用意できませんでした」というご連絡もしています。予約がかかっている資料が期限を過ぎても返っていない場合は、

借りている方に返却願いののお電話もしております。

学習席の設置について

図書館の席は資料を使う方の席で、机と椅子だけを使う方のものでありません。しかし、夏休みは2階閲覧ラウンジを学習席とし、机と椅子を設置しています。

今年7月21日～8月31日までです。ノートパソコン等は図書館の電源を使用せず、音を抑えて下さい。飲食はご面倒でもエントランスで。貴重品は必ず携帯してください。

ルールを守って、誰もが気持ちよく図書館を使うよう、ご協力をお願いいたします。

皆様の財産を守るために

マナーアップにご協力ください

- ◆皆様が気持ちよく資料を使うために、汚したりしないよう大切にしてください
- ◆壊れやすい資料(ビデオ・CD・雑誌・紙芝居など)の返却は必ずカウンターへ
- ◆次の方のため返却日をお守りください

～快適な読書環境のために～

- ◆携帯電話は電源を切るかマナーモードに
- ◆通話はエントランスで
- ◆大声で話す、走るなどは迷惑になります
- ◆館内での飲食(アメ・ガムも含む)や喫煙はできません
- ◆館内の席は本を眺む・調べる方のためのもので

何かございましたら職員まで
宇佐市民図書館

いつもスペースだより73

今年戦後60年という節目の年にあたり、

絵本展示架は「戦争の本」です。図書館にはいろいろな本があります。

7月の特集展示は「夜空の本」です。

花火大会や七夕・キャンプなど、夏は夜外にできることがたくさんあります。星の話や花火のこと、知っておくと楽しさが倍になりますよ。

おてがみありがとうございます

図書館のみなさんへ

私は中学生になったけど、中学でも朝読書があり。本をかりにきています。

5年生のときに一日図書館員をしたことは忘れていません。これから本をたくさんかりたいです。

駅川中 文美

としよかんから

いつも来てくれてありがとう。また一日図書館員の季節がやってきます。今回は何人の文美さんが来てくれるのでしょうか。楽しみです。

蔵書点検が終わりました

6月14日～19日

図書館が閉まっていた間、どんなことをしていたのか? 大公開!
点検明けの21日(火)と25・26日(土日)は賑わいました!



点検中

図書館にある全ての資料を点検していきま(閉架分はあとから)。図書館の蔵書数は約17万点。貸出中の資料を除いても一つの班で2万点近くが割り当てとなります。

一年に一度の大掃除

一人が点検をしている間、もう一人は本棚から本を出し、棚板のホコリを払います。本を数字順・著者名順などにキッチンと並び直す精密排架



防塵マスク着用

「壁紙込み」作業始まりはノートパソコンと「ほんの森」でおなじみのポットを使い、2人組8班に分かれて図書館にある全ての資料を点検していきま(閉架分はあとから)。図書館の蔵書数は約17万点。貸出中の資料を除いても一つの班で2万点近くが割り当てとなります。



400冊はこの山2つ分

という作業も行います。いつも行っているのですが、本を棚から抜き出して行えるのはこの時だけです。本の後ろに隠れている本を発見したり、別の場所に置かれていた本を元に戻したりすることが出来ます。とても重要な作業です。担当箇所が終わった班から閉架へ。閉架は書架が高く、雑誌もある大変な場所です。全ての点検が終わったら、開架から閉架など本の場所を移動します。これらの作業の間にも、毎日四百冊近くの資料が返却されます。返却処理の後、念のためもう一度点検して書架に並べます。今回はいつも事務室の書架にたまってしまいう修理本(ページはずれなど修理可能なもの。土日で80冊ほどた

まる)を数人がかりで片づけ、書架に戻すこともできました。

作業の意味

蔵書点検明けの21日、「ほんの森」と本館の千五百人のお客様で三千点の貸出と返却、25日は約二千六百点、26日は二千二百点近い貸出があるなど、賑わいました。

休館日は図書館カレンダーや図書館だより「みんと」はもちろん、「広報うさ」及び防災無線でもお知らせしていたのですが「何度も来た」という方もいらっしゃいました。大変お待たせいたしました。



精密排架中。真剣です

蔵書点検でチェックをすると、返却漏れの資料が返却されたことになり督促処理も確実に行えます。埃を払う、本の場所を確定して並べなおすなども、皆様に図書館を気持ち良くお使いいただくために大きな意味があります。これからも年一回の蔵書点検にご協力をお願いいたします。

郷土へへへ通信75

『畑田空襲の記録』(是恒義人編)

昭和五十年八月八日発行の復刻版。原本は、昭和二十年八月八日の市内畑田地区の空襲からちょうど二十一年目に発行されている。そのときすでに編者はこう書いていた。「あれから三十年。飛行場は再び美田に戻り、涼風がそよいでいる。村には新しい形式の家が立ち並んだ。村は復旧したのだ。しかし、戦争の惨禍も次第に忘れ去られようとしている(あとがき)。

それからさらに三十年が経過。編者もすでに亡く、親戚がこのたび復刻し、地元駅館小学校に寄贈。その一部を小学校から当館にいただいた。

章立ては、「一、畑田空襲の記録」、「二、資料」の二部構成。第一部には、今は亡き空襲の体験者から集められた貴重な証言がふんだんに盛り込まれているほか、第二部には空襲当時の畑田構成世帯と被害者の一覧、被害状況の地図、行政組織、国防婦人会名簿、畑田地区の戦没者名簿(遺族会調べ)など、資料も充実。三十三ページの小冊子ながら、歴史の証言記録集として、戦後六十年目の節目に復刻される意義はまことに大きい。

隊の面影のない ふるさとに帰郷

昭和三十八年、今から四十二年前です。私は、家業の酒造業を継ぐため、二十年間離れていた故郷宇佐に帰ってきました。七月でした。田植えが終わった風景は、とても懐かしい情景でした。

でもそのとき、かつてあった海軍の航空隊は、いったいどうなっているだろうと、かねてから気になっていました。目の前には青々とした水田が広がっているだけ。忠魂碑や、基地の遺物であるコンクリートが残っていましたが、それ以外、宇佐空(航空隊)の片鱗がほとんどなくなっていることに、大変寂しい思いをしました。

『宇佐海軍航空隊始末記』の 今戸公德さん

語り記録し続けなければ 歴史は消えてしまう

今年3月、約4年にわたる雑誌連載をまとめ、400ページを超える『宇佐海軍航空隊始末記』(光人社)を刊行した今戸公德さん。
5月28日、150名近い関係者が集まり、その出版を祝いました。
当日のあいさつを中心に紹介します。

今戸公德(いまだ・きみのり)氏プロフィール 1925年、大分県宇佐市生まれ。旧制中津中学を終え、明治大学予科へ。在学中特甲幹を志願して陸軍輜重兵学校に入校。復員して明大商学部へ。1950年、毎日新聞東京本社に入社、広告部に在籍中、脚本家井手雅人氏に師事してシナリオ作家となる。「ダイヤル110番」(NTV)でデビュー。日活、NTV、TBSに多くの作品を発表。1963年、帰郷して家業の酒造業を継ぐ。著書に『麦笛吹くころ』(小峰書店・1981)、『ふるさと思い出写真集・宇佐』(国書刊行会・1983)ほか。

「僕の町も戦場だった」

最初にまとめたのが、毎日新聞(大分版)に掲載された「僕の町も戦場だった」(昭39・4)と「続・僕の町も戦場だった」(昭40・8)です。この文章は、昭和四十五年に出版された『柳ヶ浦町史』(中野幡能著)の付録に収録されました。以来、航空隊のことは私の頭の中から片時も離れませんでした。

高度経済成長で日本はどんどん豊かになりましたが、その一方で、戦時期の記憶はあまり顧みられない。このままだと航空隊の歴史が忘れ去られてしまうのではないかと、いう危惧も強まりました。

平成七年、自分が古希を迎えたとき、航空隊の歴史を集大成して次の世代に残したいと、あらためて決心したのです。その時点でもう戦後五十年が経っており、関係者がますます少なくなっていました。

古希を迎えて あらたな決心

でした。あれがハワイへ行った飛行機だったときいたときの驚きは、今でも忘れられません。

若いみなさんの 継承活動に期待

ここ十数年、豊の国宇佐市塾のみなさんがまとめた『宇佐航空隊の世界』(I・IV)や、宇佐市による城井1号掩体壕の史跡指定など、若い世代の方々が熱心に航空隊の歴史の継承にとりくんでおられることを、大変心強く思っています。

そこで、今回の『宇佐海軍航空隊始末記』刊行にあたり、若いみなさんにお願があります。

まとまればばかりのこの『始末記』も、今後五十年、百年のあとに、忘れ去られる日が来ないとも限りません。たとえ本が存在していても、そのなかに書いてある言葉の意味がわからなくなっているかもしれません。いまのうちにはぜひ、用語の解説、言葉の継承を、次の世代の課題として受け継いでいただきたいのです。それが、やがて消えゆく老兵のような私の願いであります。言葉がなくなるということは、歴史が死ぬことだからです。

執筆の動機

そもそも、「宇佐海軍航空隊始末記」執筆の動機は、嘗って、世界五大強国の一つとしてアジアの一角に不動の存在感を示していた日本が、太平洋戦争の敗戦による自信喪失と、戦後六十年の間、日本人が、日本人としての誇りと伝統を忘却してしまっただけの感あるこの国の未来への憂慮が筆を執らせた次第です。

就中、この地には、昭和十年代、僅か七年という短い期間ではありましたが、帝国海軍の航空隊があり、連合国軍との干戈の果て未曾有の国難に遭遇。

その時、祖国防衛のため、特別攻撃隊を志願した百数十人の搭乗員が、身を犠牲にして敢然と出撃していった事実が、町が戦場と化した現実があったからであります。今、宇佐平野の沃野は平和の到来とともに当時の片鱗さえとどめていません。かつて、日本人が日本人としてのプライドを持っていた時代とその精神を事実のまま、後世に伝えたかったのも、また、その理由の一つであります。

平成十七年五月

今戸公德

(出版記念パーティー「御札」文より抜粋)



謝辞をのべる今戸公德さん(今戸さん提供)
=出版記念パーティーで(5月28日)

ちょうどそのころ、『丸』という雑誌を出している潮書房の編集部から、航空隊について連載してほしいという依頼があり、渡りに船ということ、執筆を始めました。『丸』という雑誌は、みなさんにはあまりなじみがないかもしれませんが、昭和二十二年創刊の歴史のある雑誌で、今日まで営々と戦争を記録し続けている雑誌です。似たような専門誌はほかにありません。

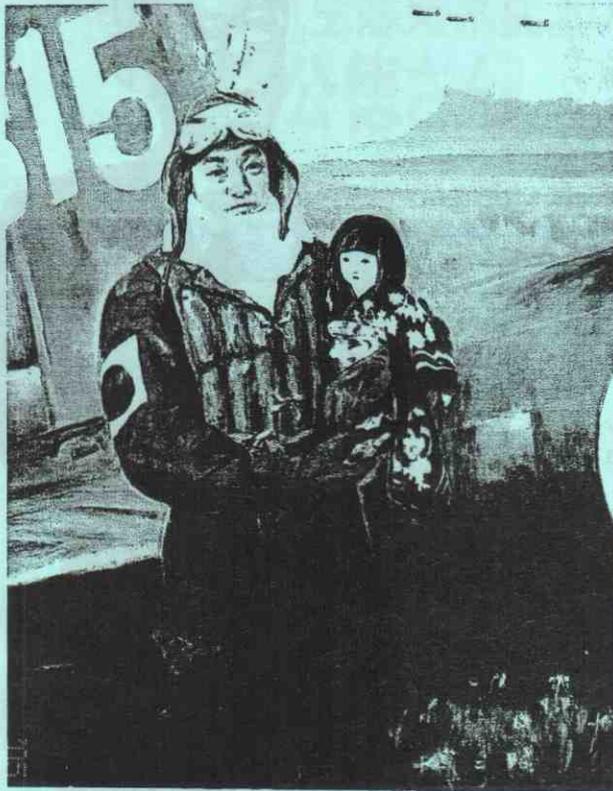
戦争の歴史を残しておきたいという気持ちで読み進めた雑誌で、戦争の記録を読む人がいまでも多いことを物語る雑誌です。

一八六八年の明治維新まで、日本は世界の中の後進国でした。ところが、

その後五、六十年の間で戦艦「大和」をつくるまでの技術力を身につけたという近代日本の歩みは、民族として特筆すべきことだと思います。

しかし、その戦艦「大和」でさえも、放つておけば、やがて忘れられる時代が来るでしょう。最近、呉に戦艦大和ミュージアムがオープンしたというニュースをききましたが、歴史を継承するためには、繰り返し語る、繰り返し記述することが必要です。

昭和十六年の冬休み、家の二階で「ゴーツ」というものすごい爆音を聞き、びつくりして窓から空を見ますと、暗緑色に塗られた飛行機が何十機と航空隊の方へ着陸していくところ



「若桜時代に生きて」 特攻隊員描いた油絵 7月9日(土)から公開

先月、深川善次さん(元佐賀大教授・佐賀県川副町在住)から宇佐市に寄贈された特攻隊員を描いた絵「若桜時代に生きて」(油絵・縦約二〇cm×横約九〇cm)を、七月九日(土)から開催の「宇佐航空隊の世界」展(二階・渡網記念ギャラリーで八月七日まで)で公開します。絵のモデルとなったのは、宇佐航空隊から出撃する直前に撮られた堀之内久俊さん(当時21歳)の最後の写真。抱いている振り袖人形は、当時、隊員たちの面倒をみていた長洲医院院長・中沢実先生から贈られたもの。終戦六十年の節目の年に描かれたこの絵には、深川さんの、戦争犠牲者に対する鎮魂の思いが込められています。

新着資料の書評から(6月)

- 政争と事件、挑発的な回顧録『国家の罫』佐藤優(新潮社)317.2サ【6/5日】
- 庶民生活に見る激動の戦前『田辺写真館が見た“昭和”』田辺聖子(文藝春秋)910.2タ【6/5西】
- 主人公に重なる日本の行方『そうだったのか手塚治虫』中野晴行(祥伝社新書)726.1テ【6/5毎】
- 冒険に満ちた思索の旅『ウォーキング』ヘンリー・D・ソロー(春風社)934.6ソ【6/5産】
- ポーランド人、母、……何より研究者として『科学者キュリー』セラト・ライ(青土社)289キ【6/5毎】
- 感情と思想の美しい一致 言葉の力『心理』荒川洋治(みすず書房)911.57【6/5毎】
- 間違った言葉使っていませんか『問題な日本語』北原保雄(大修館書店)810.4キ【6/11産】
- 天性の指導者と異才群像活写『劉邦』佐竹靖彦(中央公論新社)289【6/12日】
- 節約ブーム…主婦のバイブルに『食費1か月1万円生活。』武田真由美(主婦と生活社)596タ【6/18産】

※館内掲示した書評から、所蔵している本(または発注中の本)の見出しを紹介しています。

パノラマコーナー(14)

『トラベリングパンツ・ラストサマー』アン・ブラッシュエアーズ著 (理論社)

仲良し4人組の女の子だけの秘密の宝物は、誰がはいてもサイズぴったりでとつても素敵に見える、幸せのジーンズ「トラベリングパンツ」。

4人組も高校三年生になり3度目のそして最後の夏が始まります。

『子供たちは夜と遊ぶ』

辻村深月著(講談社)

『冷たい校舎の時は止まる』でメフィスト賞を受賞した作者の最新作です。前作では高校が舞台でしたが、今度は大學生が主人公です。

◆最近の新着本から◆

- 『あそこの席』男の子のホンキ『元氣が出る』ゴトバ『ゴデーサンデー』13恋愛白書『13恋愛白書』ロマンティック編『シスターズパイダー』11の声『聖石の使徒蒼の組木箱』ちよー美女と野獣『月の影の海上・下』なるほど高校数学三角関数の物語『僕たちの終末』『炎の蜃気楼メモリアル』『魔界京都幽霊事件』『魔法博物館の謎』モーニングキッチンでつかまえて『ルドルフ・カイヨワの憂鬱』『ロスト・ターン』ギブソン『金魚島にロックは流れる』『七つの封印6・7』『風神秘抄』マンモスハンター下『ローマ帝国』

『宇佐の生き物たち』展

7月3日(日)まで

2階・渡網記念ギャラリーの
ご意見箱から

とてもよく観察されているなあと思
いました。森林浴をしたような感
じです。
(中津市 30代 女性)

大人にとっても、子どもにとつて
も大変素晴らしい自然観察資料ば
かりです。このような展示は、図書
館の催しとしても非常に好ましいと思
います。

ぜひ、郷土を見直すためにも素晴
らしい企画を続けて下さい。
(宇佐市 50代 男性)

写真の撮影場所、とった人等もお
しえてほしい。
(豊後高田市 30代 女性)

日頃通りすぎてしまいそうな小さ
な生き物のたくさんの種類が展示さ
れており、とても興味深く拝見しま
した。水質悪化のへんな生き物もめ
ずらしく、おもしろかったです。
次回も楽しみにしています。
(宇佐市 20代 女性)

この度の企画、きれいでたのしい。
多くの市民に、特に子どもたちに見
てほしいと思います。
(無記入)

虫がこわくて気もちわるかった。
けど、すごかったです。
(宇佐市 中学生 女性)

いろんな生き物を見てとてもよ
かったです。平和の大切さや命の大
切さをこれからも大事にしたいで
す!
(宇佐市 小学生 女性)

とてもめずらしい物をみせていた
だき有難うございました。
身近なところにあらためて見るたの
しさを教わりました。
(宇佐市 40代 女性)

見事な標本、写真その他すばらし
い者を見せていただきました。
自然環境に対する意識の高揚に大
切な展示で、小中学生などに多く見
てもらいたいですね。
(玖珠町 60代・70代)

たくさんのご意見・ご感想を
ありがとうございました!

7月のミニ展示

東側(一番奥の0の書架)から順番に紹介しています

(通路側)	(窓側)
・現代思想の冒険者たち	・インターネット
・神話	・ロシア革命
・日本の中世	・古代文明の謎
・トップに立った人々	・十字軍
・北朝鮮問題	・評論家
・お茶	・日本人論
・海外鉄道の旅	・自衛隊のはなし
・ココロ	・小さな宇宙
・トップアスリート	・ナースの本
・短歌	・万葉集
・司馬遼太郎	・書簡集
～街道をゆく～	・ピーター・メイル
・親子	・スペイン
・学校の物語	・丸山健二
・芥川賞受賞作品	・ムツゴロウ(畑正憲)
・随筆 灰谷健次郎	シリーズ

図書館日誌 [5/21/11~6/19/11]

- 5/21(土) 古典に親しむ会(5/28・6/4・11)
和紙人形教室
- 5/25(水) 子どもと本を学ぶ会(6/1)
- 6/ 2(木) 防府市防府図書館利用者サークル
連絡会研修視察
- 6/ 3(金) 絵画贈呈式
- 6/ 4(土) 駅館子ども会親賛会
- 6/ 5(日) 絵便り教室
- 6/14(火)~6/19(日) 蔵書点検

～図書館ボランティアの活動～

- 6/2(木) むくむく おはなし会
図書整理ボランティア1期(装備)
- 6/7(水) 図書整理ボランティア4期(装備)
- 6/9(火) おはなしあのおね おはなし会

六月の特集展示

- 【一般】
- 「ドライブしようよ!」
- 「倉橋由美子さん追悼」

▼雑誌特集

- 『シティ情報おいた』と『思想』
- 『シティ情報Fukuoka』と
- 『児童心理』

- 【ヤング】
- 「生き物の本」

- 【子ども】

- 「水と生き物」「絵本であそぼ!」



寄贈していただいた方

(四月末現在・敬称略)

高橋ちえこ・樋田並滋・(社)大分県建築士会・坂本佳友・大分県詩人協会・中津下毛地方振興局長・九州口腔健康科学センター・(株)学習研究社・宇佐自然と親しむ会・てん・てん・てんの会・日本郵船株式会社・「葦津珍彦の主張」普及発行人会・(財)日本ユースホステル協会・(財)静岡国際園芸博覧会協会・横光利一文学会事務局・八峰出版株式会社・(株)丹青研究所・(社)日本ツーバイフォー建築協会・原田勝正・(財)大同生命国際文化基金・リクルート・(財)日本土壌協会・経済産業省四国経済産業局・牙短歌会・(社)日本原子力産業会議

ありがとうございました。



7月の宇佐市民図書館 本館

1	金	ほんの森号 ②北馬城小 ③長洲公民館
2	土	アニメ「アンデルセン名作童話集4」13:00~13:35
3	日	映画「アルフレッド・ヒッチコックー私は告白する」13:00~14:35
4	月	休館日
5	火	ほんの森号 ②糸口小 ③四日市コミュニティ
6	水	ほんの森号 ②豊川小 ※県巡回
7	木	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
8	金	ほんの森号 ②宇佐小 ③渚団地
9	土	アニメ「ベルサイユのばら 6巻」13:00~14:30 おはなし会 (図書館主催) 11:00~11:30
10	日	映画「男はつらいよ一拝啓車寅次郎様」13:00~14:41
11	月	休館日
12	火	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地 古文書を読む会 近世文書 14:00~15:30 (研修室)
13	水	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
14	木	ほんの森号 ①封戸小 ②和間小 ③宇佐公民館 おはなし会 (おはなしあのお主催) 11:00~11:30
15	金	ほんの森号 ②北馬城小 ③長洲公民館
16	土	アニメ「ウルトラマンダイナ 帰ってきたハネジロー」13:00~14:00
17	日	映画「何がジェーンに起こったか?」13:00~15:14
18	月	休館日 【祝日】
19	火	休館日 【振替】
20	水	ほんの森号 ②糸口小 ③四日市コミュニティ
21	木	ほんの森号 ②豊川小 おはなし会 (おはなしあのお主催) ※県巡回
22	金	ほんの森号 ①天津小 ②長峰小 ③小峰団地
23	土	続・横光利一を読む会 14:00~16:00 (研修室) アニメ「こちら葛飾区亀有公園前派出所」13:00~13:51
24	日	映画「エノケンのちゃつきり金太」13:00~14:12
25	月	休館日
26	火	ほんの森号 ②宇佐小 ③渚団地 古文書を読む会 中世文書 14:00~15:30 (研修室)
27	水	ほんの森号 ①西馬城小 ②高家小 ③貴船団地 アニメ「ポケットモンスターピカピカ星空キャンプ」13:00~13:47
28	木	休館日 【月末整理日】
29	金	ほんの森号 ①横山小 ②八幡小
30	土	アニメ「忍たま乱太郎」13:00~13:45
31	日	映画「奥さまは魔女 15巻」13:00~14:15

ほんの森号の時間帯 ①10:20~11:00 ②13:00~13:40 ③15:20~16:00
映画は、1階・視聴覚ホールで上映します。(無料)

* おはなし会 *

7月9日(土) 図書館主催
7月14日(木) 図書館ボランティア(おはなしあのお)主催
7月21日(木) 図書館ボランティア(おはなしあのお)主催
(いずれも 11:00~11:30 おはなしのへや)

渡網記念ギャラリー

「宇佐の生き物たち」展
開催中 ~ 7/3(日)

「宇佐航空隊の世界」展
7/9(土)~8/7(日)

講座案内

(参加は自由です。無料。2階・研修室)

古文書を読む会

★近世文書 「西畑村(旧真玉町)差出帳」
7月12日(火)
★中世文書 「今仁文書」
7月26日(火)

*いずれも14:00~15:30

続・横光利一を読む会

「旅愁」を読む 70

7月23日(土) 14:00~16:00

上 映 会

(ビデオやLDを使って上映しています)

◆子ども向け(アニメ)

7/2(土)「アンデルセン名作童話集4巻
ーかえるの冒険、他2話」35分
7/9(土)「ベルサイユのばら 6巻」90分
7/16(土)「ウルトラマンダイナ
ー帰ってきたハネジロー」60分
7/23(土)「こちら葛飾区亀有公園前派出所
ー噂の海パン刑事登場、他1話」51分
7/27(水)「ポケットモンスター
ーピカピカ星空キャンプ」47分
7/30(土)「忍たま乱太郎」45分

◆一般向け(映画)

7/3(日)「アルフレッド・ヒッチコックー私は告白する」(アメリカ)
モノクロ 95分 日本語字幕 1953年
主演:モンゴメリー・クリフト
7/10(日)「男はつらいよ一拝啓車寅次郎様」(日本)
カラー 101分 1994年 日本語字幕入り
出演:渥美清、かたせ梨乃
7/17(日)「何がジェーンに起こったか?」(アメリカ)
モノクロ 134分 日本語字幕 1962年
出演:ベティ・デヴィス、ジョーン・クロフォード
7/24(日)「エノケンのちゃつきり金太」(日本)
カラー 72分 1937年 監督:山本嘉次郎
7/31(日)「奥さまは魔女 15巻」(アメリカ)
カラー 75分 出演:エリザベス・モンゴメリ